

千葉歴史・自然資料救済ネットワーク

千葉資料救済ネットとは

- 災害時などに、団体・個人による資料救済活動をスムーズに推進するために、2012年3月に結成されたボランティア団体である。県内の関係機関・学会・自主的集団・他県の資料ネット等との連携を推進し、有効な救助活動を実現することを目的に、救済体系から漏れる恐れがある民間所在資料を主な対象として活動する。
- 事務局は千葉大学小関研究室に置いている。

2025年度の活動

「成田空港機能強化にかかる緊急調査」への取り組み

「成田国際空港機能強化」とは

〈概要〉

- 2018年（平成30）3月13日成田国際空港の機能強化について周辺自治体との同意がなされた。
- 2020年（令和2）1月31日国土交通大臣の許認可にともない、空港敷地内になる区域が指定。同年4月1日に騒音の影響を受ける区域が千葉県の都市計画により決定。
- 空港敷地内にあたる地区は、現在工事進行とともに移転が進行中。
- 騒音防止特別地区も各家の判断で、移転する場合がある。
- 2029年（令和11）3月31日完成予定。



〈一鉢田区有文書・資料〉

上記機能強化により、多古町一鉢田地区は空港敷地内として全戸移転対象となった。

- 多古町一鉢田地区に伝来していたもの。
 - 代々の区長に引き継がれており筆筒に収納されていた。
 - 江戸時代から現代に至るまでの内容を含む。
- また、地域の女性が参加する「女オビシャ」関係の掛軸・幟、祠などあり。
- 北総地域資料・文化財保全ネットワークと連携して資料調査を行った。



一鉢田地区調査の様子

一鉢田地区工事の様子

2025年度総会・勉強会の開催

- 2025年7月20日（日）、千葉大学で開催
- 「多古町域の歴史と史料—成田空港第三滑走路建設に伴う文化財保存活動」と題して勉強会を行った。

※成田空港第三滑走路建設に伴う「北総資料ネット」による文化財保存活動を後押しすべく、多古町域（特に一鉢田地区）の歴史と史料について学び議論する機会とした。

お問い合わせ

事務局 〒263-8522 千葉市稻毛区弥生町1-33
千葉大学教育学部小関研究室
電話番号 043-290-2550
メール chibasiryounet@gmail.com

ブログ▷



X (旧Twitter) ▷

